

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会 (令和6年度第1回)議事概要

1. 日 時 令和6年6月25日(火) 15:30～17:30

2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 5階会議室(WEB会議併用)

3. 出席者

[委員長]

屋井 鉄雄 (東京工業大学特命教授・名誉教授)

[委員]

秋葉 正一 (日本大学生産工学部土木工学科教授)

鬼沢 良子 (NPO法人「持続可能な社会をつくる元気ネット」理事長)

久保田 尚 (埼玉大学大学院理工学研究科名誉教授)

藤山 知加子 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授)

前田 栄治 (千葉県経済同盟会副代表幹事)

(事務局)

[関東地方整備局]

道路部長 野坂 周子

道路企画官 藤田 修

千葉国道事務所長 藤井 和久

大宮国道事務所長 中洲 啓太

道路計画第一課長 鳥畑 一博

4. 議 事

(1) 挨拶

・関東地方整備局 道路部長

(2) 報告事項

・新湾岸道路の検討状況

・核都市広域幹線道路の検討状況

(3) その他

＜委員からの主な意見等＞

■新湾岸道路の検討状況

- ・ステイクホルダーの対象を幅広く想定し、コミュニケーション活動を丁寧に行うことが重要であり、様々なご意見を受けて対応方針等を検討していくことが必要である
- ・デジタルに接しない高齢者等に対しては、道の駅でのポスター設置やパネル展示等を活用して計画について共有していくことが重要である
- ・新湾岸道路は千葉県の枠を超え、一都三県からの要望が非常に強い路線である
- ・三番瀬などの環境への影響も考慮して、関係者とのコミュニケーションを図っていくことが必要である
- ・道路利用者だけでなく、多くの人が恩恵を受けられる道路になるように計画を検討していただきたい

■核都市広域幹線道路の検討状況

- ・ワークショップの参加者に女性が少ない。女性や運転免許を持っていない方々などの意見など、幅広い方々から意見を頂けるように工夫していただきたい
- ・コミュニケーション活動でいただいた意見は多種多様であり、偏りなく紹介することが重要である
- ・SNSを活用した情報提供は有効な取り組みだと思う
- ・非常に丁寧に検討を進めている。事業のポスターなどもよく見かけるため、市民にも検討の状況が広まっていると感じる
- ・首都圏の主要な郊外都市を結ぶ初めての重要な事業であり、丁寧な検討が必要である
- ・自然が豊かな地域を通過するため、環境への配慮が必要である

以 上